

# 里山再生の活動

## 1. 目指すもの；

- 人が関わることにより里山の新陳代謝が進み、美しい自然の姿を取り戻す。
- 人々が里山の資源を利用することにより、里山の自然に親しみ、その価値を身近なものにする。
- 里山の放射能測定と除染活動を通じて、放射能汚染のデータと除染の技術が里山を利用する人々により共有される。
- 里山再生の活動に携わった住民と各地の大学生の間に交流が生まれ、里山の知見を維持し受け継ぐ新しいコミュニティーが育つ。
- また大学生により、飯舘村の活動の成果が全国の他の地域に展開される。

## 2. 実施してきたこと

2021年度～：

里山の空間線量と里山林の土壌・樹木の放射能濃度の測定

人々と里山のかかわり合いを体験して学ぶ研修会を開催し、その場作りとしての星空観測小屋を建設し、炭焼き土窯を再建

(土窯は2022年3月の地震で崩壊、2023年12月に簡易炭焼き窯を設置して第1回目の炭焼きを実施)



里山再生のフィールド

牧場

牧場

キノコ栽培

炭焼き窯

森林浴の路 (歩道)

クリ試験植林

林道 (車道)

クヌギの植樹

スズラン

マツ林 (間伐)

つつじ (ひな壇)

星空観測小屋



# ① 空間線量マップ



復り (尾根伝い) →

牧場跡に戻り東に横断する 北から南に続く  
尾根の暗部から尾根伝いに北へ徐々に降る  
菅野清宅を右下に見ながら通り過ぎ、林道に  
降り立ち、風と土の家へ戻る  
実所要時間；約45分

← 往き (林道跡伝い)

菅野清宅前から林道跡を辿り、南西から  
南に向かい緩やかに登る 杉林に入り  
進路を南西に変えたのち、再度南に  
向かい登り、北から南に続く尾根の暗  
部を西へ抜ける 牧場跡を西に横断し、  
右手下の牧場草原の上部に降り立つ

## 2. 実施してきたこと

2022年度～：

里山林の伐採・間伐、除染実験、ツツジ・クリ・クヌギの植樹

体験研修で刈草と牛糞を混ぜて堆肥作り、できた堆肥をブドウ畑に施肥



## 2. 実施してきたこと

2023年度～

シイタケの榎木栽培とブルーベリーの植樹

手作業による稲刈り・稲架掛け天日干し・脱穀をして皆で美味しいお米を賞味

簡易炭焼き窯で炭焼き、焼いた炭をブドウ畑に鋤き込み（土壌改良）



## 2. 実施してきたこと

2024年度～

ツツジを巡る遊歩道を整備し、ベンチを設置

樹木を伐採した雑木林に植え付け

シイタケ・ナメコの榾木を追加して組み置く



### 3. これからの活動について

- 里山生活の知見を持つ住民と、受け継ぐこと・広めることが期待される若い住民・各地の大学生と協働を進める。
- 季節毎の植樹や収穫をイベント化し、住民と学生の参加を募り実施する。  
(春；田植え・ブドウの定植、秋；稲刈り、クリ・キノコ・ブドウの収穫)
- 2022年度以降植樹したツツジ・クリ・カリン・クヌギ・ブルベリー・キノコ・山菜を、維持・管理し育てる役割分担を仕組み住民と作り実施を。

皆さん、

いつでも時間のあるときに、ぜひご参加ください！